

授業科目	*看護マネジメント総論				単位	1		
履 修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU11208J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP3-2 DP4-1			
担当教員	隅田 由加里							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>1年次から2年次前期の基礎看護学では看護の対象である患者への看護援助技術の学修を中心に続けてきたが、この看護マネジメント総論では、看護の対象者の多様化するケアニーズを満たし質の高い看護実践活動を個人ではなく組織で継続的に行っていくための方略であるマネジメント(管理)を学修する。</p> <p>看護マネジメント(看護管理)とは、対象者が求める質の高い看護サービスの実現のため、プロセス(「計画化」「組織・人事化」「指揮」「統制」)に準じて、組織で効果的・効率的、そして創造的に看護の枠組み(基準等)を構築し、全ての看護者が統一した一定水準の看護を継続的に提供できるようにするための機能である。本授業ではこの看護マネジメントの定義・レベル・プロセスなどの概念をはじめ、組織や活用する資源とその管理、多職種連携やチーム医療に求められる協働のスキル、看護専門職としてのキャリア開発、医療安全管理、看護マネジメントに関連する制度や法律などの観点から基礎的知識を修得する。さらに多職種が連携しチーム医療が推進される昨今において、多職種連携の中で看護職が担う役割や習得すべき組織人としてのスキル、また質の高い医療を維持するための医療安全について思考し、医療施設等における看護管理の課題を探究する。</p> <p>担当者は、実務家教員として福岡県看護協会認定看護管理者教育課程「セカンドレベル」、また福岡県看護協会 医療安全管理者養成研修と感染管理者コースを修了し、長きにわたり看護管理者としてマネジメントを実践してきた経験をもつ。授業は講義中心とはなるが、看護管理や医療安全管理の理解が深まるよう、具体的な事例を提示しグループワーク等も活用していく。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 質の高い医療・看護を提供するための、看護マネジメントと医療安全管理の基礎的知識を修得している。 2. 効果的・効率的な看護マネジメントが実践できる組織運営と医療安全管理活動を、マネジメントの基礎的知識を活用して論理的に記述できる。 3. 医療・看護の質の維持・向上のためには、多様性を踏まえた多職種との連携・協働のしくみづくりが必須であることを理解し、仲間と協力し課題を解決することができる。 4. 組織人としての意識を持ち、責任感と倫理感に基づいたセルフマネジメントを行うことができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	65	0	30	0	0	5	100	
知識・理解 (DP1-1)			15				15	
知識・理解 (DP1-2)	65						65	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			0		0		0	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)			15	0	0		15	
態度(DP4-1)			0	0	0	5	5	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								

理想的レベル		標準的なレベル		
<p>1. 看護マネジメントの定義・意義・目的が根拠をもとに記述できる。</p> <p>2. 看護マネジメントの概要(看護マネジメントのプロセス、組織構造と組織化、多職種連携とチーム医療、各資源の管理、医療・看護の質評価、診療報酬制度を中心とした看護に関わる医療制度)が具体例を用いて論理的に記述できる。</p> <p>3. 医療安全(事故防止)におけるマネジメントの概要(医療安全管理体制、事故発生メカニズム、医療安全対策、医療安全文化の醸成)が具体例を用いて論理的に記述できる。</p> <p>4. 効果的・効率的な看護マネジメントが実践できる組織管理について、また質の高い医療安全管理活動に必要な要素をマネジメントの基礎的知識を活用して、自身の見解を論理的に記述できる。</p> <p>5. 医療・看護の質の維持・向上のためには、多様性を踏まえた多職種との連携・協働のしくみづくりが必須であることを理解し、仲間と協力し積極的に課題解決に取り組むことができる。</p> <p>6. 看護管理の要素であるセルフマネジメントの重要性を理解し、専門職としての自己の成長を考え、倫理に基づいた節度ある行動をとることができる。</p>		<p>1. 看護マネジメントの定義・意義・目的を述べることができる。</p> <p>2. 看護マネジメントの概要(看護マネジメントのプロセス、組織構造と組織化、多職種連携とチーム医療、各資源の管理、医療・看護の質評価、診療報酬制度を中心とした看護に関わる医療制度)を述べることができる。</p> <p>3. 医療安全(事故防止)におけるマネジメントの概要(医療安全管理体制、事故発生メカニズム、医療安全対策、医療安全文化の醸成)を述べることができる。</p> <p>4. 効果的・効率的な看護マネジメントが実践できる組織管理について、また質の高い医療安全管理活動に必要な要素をマネジメントの基礎的知識を活用して述べることができる。</p> <p>5. 医療・看護の質の維持・向上のためには、多様性を踏まえた多職種との連携・協働のしくみづくりが必須であることを理解し、仲間と協力して課題解決に取り組むことができる。</p> <p>6. 看護管理の要素であるセルフマネジメントの重要性を理解し、自己の成長を考え節度ある行動をとることができる。</p>		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	授業ガイダンス 医療・看護をとりまく諸制度と看護マネジメントの基本的概念 (講義: 隅田由加里) 授業内容 ・看護マネジメントの歴史 ・看護マネジメントの定義、目的・意義 ・看護マネジメントの3つのレベル ・看護マネジメントの対象 ・看護マネジメントのプロセス ・看護マネジメントの活用資源	・シラバスを用いて科目についてのオリエンテーションを実施する。 ・講義: テキストとスライドを活用して行う。	【予習・復習】 1. 看護マネジメント総論で学ぶ知識と技術への理解を深め、学習内容の積み重ねと効果的な活用につなげるため、今後役に立つ「ポートフォリオノート」を作成する。 2. 本日の講義に該当する部分の復習を行う。 3. 該当分野の国家試験過去問題を活用する。	【予習・復習】60分
2	組織化とチームアプローチ (講義: 隅田由加里) 授業内容 ・医療・看護が行われる病院の組織構造と構成 ・看護師が活躍する病院組織の場と看護師の存在意義 ・組織化の重要性 ・多職種連携・協働、チーム医療	講義: テキストとスライドを活用して行う。	第1回目と同様	【予習・復習】60分
3	人材育成とキャリアのマネジメント (講義: 隅田由加里) 授業内容 ・看護師の人材確保の必要性 ・人材育成管理(教育指導体制、ラダー制度、OJTとOff-Jt) ・看護師に求められる能力(人間関係構築のためのセルフマネジメントと協働のスキル) ・ジェネラリストとスペシャリスト	第2回目と同様	第1回目と同様	【予習・復習】60分
4	医療施設における看護マネジメントの実際 (講義/グループワーク: 隅田由加里) 授業内容	第2回目と同様	第1回目と同様	【予習・復習】60分

	<ul style="list-style-type: none"> ・看護の組織構造(看護部の理解) ・看護提供システム ・多重課題への対応(役割分担、業務の優先度) ・モノのマネジメント ・医療情報システムのマネジメント 			
5	<p>病院と経営 医療・看護の質保証と評価 (講義: 隅田由加里)</p> <p>授業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療保険制度、診療報酬と加算 ・入院基本料 ・医療・看護必要度 ・カネのマネジメント(コスト管理) ・医療・看護の標準化(標準看護計画、クリニカルパス) ・医療・看護の質保証と評価 	第2回目と同様	第1回目と同様	【予習・復習】60分
6	<p>医療の安全から考えるマネジメント①: 医療安全管理体制 (講義/グループワーク: 隅田由加里)</p> <p>授業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒューマンエラーと事故発生メカニズム ・マネジメントプロセスを活用して考える医療安全管理 ・医療安全管理を行うための組織化 ・医療安全管理体制における看護師の存在意義 	第2回目と同様	第1回目と同様	【予習・復習】60分
7	<p>医療安全のマネジメント②: 医療安全対策 (講義/グループワーク: 隅田由加里)</p> <p>授業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療事故の構造 ・インシデント/アクシデントレポートの記載意義 ・医療安全対策 ・KYT(危険予知トレーニング) 	第2回目と同様	第1回目と同様	【予習・復習】60分
8	<p>医療安全のマネジメント③: 医療安全文化の醸成 (講義/グループワーク: 隅田由加里)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全文化の醸成とは何か ・心理的安全性の重要性 ・Team STEPPS を活用したコミュニケーション 	第2回目と同様	第1回目と同様	【予習・復習】60分
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<p>テレビやインターネットを介して、病院や看護の現状や課題が報道されています。まずはこの様なメディアによる医療や看護に関連するニュースや情報を、組織連携や協働、病院で使用される資源(機器類や使用している物品等)などの視点で視聴してみましょう。今までとは違う気づきがあると思います。また1年次の生活援助技術論演習や2年次の診療関連技術論演習では、「あなたが患者に安全・安楽・自立を考慮した質の高い看護ケア(排泄の援助や注射の技術など)を実践する」という観点で学びを深めてきましたが、この看護マネジメント総論では、全ての看護師が安全に安楽に患者の自立を考え、統一された質の高い看護ケアを提供するにはどのような仕組み・枠組みを構築すれば具現化できるかという観点で看護を思考していきます。まずは、今までの経験や体験を振り返り、個人ではなくチームで目標を達成するために努力したこと協力してきたことなどを振り返り考えをまとめておきましょう。</p>			
テキスト	<p>「ナースング・グラフィカ 看護の統合と実践① 看護管理」(メディカ出版) 「ナースング・グラフィカ 看護の統合の実践② 医療安全」(メディカ出版)</p>			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・系統看護学講座 統合分野 看護管理 看護の統合と実践①(医学書院) ・系統看護学講座 統合分野 医療安全 看護の統合と実践②(医学書院) ・井部俊子 中西睦子著:看護管理学習テキスト 第1巻～第8巻、別巻(日本看護協会出版会) ・P.F.ドラッカー著 上田惇生編訳:[エッセンシャル版] マネジメント 基本と原則(ダイヤモンド社) ・岩崎夏海著:もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら(ダイヤモンド社) ・河野龍太郎:医療におけるヒューマンエラー「なぜ間違えるどう防ぐ」(医学書院) ・東京慈恵会医科大学附属病院 看護部・医療安全管理部編著:Team STEPPSを活用したヒューマンエラー防止策 SBARを中心とした医療安全のコミュニケーションツール(日本看護協会出版会) ・芳賀茂:失敗のメカニズム 忘れ物から巨大大事故まで(角川ソフィア文庫) ・石井遼介:心理的安全性のつくりかた(日本能率協会マネジメントセンター) 			

<p>授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ</p>	<p>この大学時代が終了したら、皆さんは看護職として社会に巣立っていき、様々な医療機関や、地域の施設や企業に就職すると思われるかもしれませんが、例えば日々医療現場で行われている手指消毒方法の徹底と統一はだれがいつどのように行っていると思いますか？ サージカルマスクをはじめとする個人防護具が常に不足しないようにするためには、どのようなしくみが存在しているのでしょうか？ 重篤な患者に使用する人工呼吸器をどの看護師でも安全に使用できるようにするためには、どのような教育を誰が企画し実践しているのでしょうか？ このような疑問符の答えは看護マネジメント総論を学ぶことで解決できるでしょう。そして医療現場ではこのような細やかなマネジメントが実施されているので、円滑に患者に行うべき看護ケアを迅速に提供することができるということを理解していきましょう。この単元を通してマネジメントとは管理者だけが知り行うものではなく、組織に属するすべての人が実践するものであることを理解してください。そしてその知識や考え方を習得し、来年度からの各論実習や看護総合実習を通して、まずは受け持ち患者の療養環境のケアマネジメントから実践してほしいと思います。</p>
<p>達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法</p>	<p>本授業の課題達成度は、筆記試験(65%)、レポート(30%)、その他(5%)」に位置づけた授業貢献度(5%)により総合的に評価します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 【知識・理解】の看護学科 DP1-1)「看護の対象である人間の尊厳や多様性の理解と、社会をグローバルに捉える視点を習得している。」は、レポート(15%)から総合的に評価します。 2. 【知識・理解】の看護学科 DP1-2)「看護実践に必要な基本的な知識を修得している。」は、筆記試験(65%)から総合的に評価します。 3. 【関心・意欲】の看護学科 DP3-2)「健康支援に関わる人々と協働・連携し、生活の質を維持・向上させようとする意欲をもっている。」はレポート(15%)の内容から評価します。 4. 【態度】DP4-1)「看護実践者としての責任を自覚し、倫理に基づく行動ができる。」は、その他(学習貢献度:5%)から評価します。学習貢献度の視点は、期限までに出席 foam を送信できる、授業やグループワークでの行動から評価します。 <p>*レポートテーマは授業内で提示します。 課題に対するフィードバックは、授業時間の中で説明します。</p>

